

6. その他意見等について

その他、新型コロナウイルス感染症が5類に移行となるにあたり、ご意見やご心配な点等がございましたらご記入ください。

- ・ 高齢者施設のガイドライン的なものを示していただきたい
- ・ 第9波が本当にあるのか否か
- ・ 風症状とコロナ感染症との区別ができず、業務に入ってもいいのか判断に迷う。
- ・ 弱毒化するわけではないが、職員の行動制限する事はできないので、体調の管理だけお願いし、優れない場合は出勤を控える方法をとっています。休業補償の様子を見て継続しようと考えています。
- ・ 高齢者施設は5類になっても感染力は変わらないので、今まで通りの感染対策を当面、行うことになるのではないかと思う。
- ・ 施設利用者に感染すると重症化のリスクがあるため、引き続き感染予防を行う。
- ・ 回答のすべてが現時点で検討した内容であるが、今後の国等から発出される情報に基づいて対策の再検討をする予定。まだ不明確な点が多いため、国等からもう少し明確な情報（指針となるもの）を発信してもらいたい。
- ・ 現在、窓越しでの面会を実施しているが、今後、施設屋内での面会をどうするか悩んでいる。
- ・ 利用者が感染した場合、嘱託医の判断で入院加療を望んでも受け入れる病院がすぐに見つかるか心配である。
- ・ 社会福祉施設（特に高齢福祉サービス）と一般社会とのギャップが大きい。施設へのウイルス持ち込み防止は必要だが、職員に対して厳しい行動制限を設けると、ますます介護職が選ばれない仕事になってしまうのではないかと思う。
- ・ 外出や外泊についてどうするかで悩んでいます
- ・ 高齢者福祉施設のため、陽性時の高齢や持病による病状悪化や急変のリスク、更に施設内での感染拡大のリスクが常にあること。
- ・ 福祉施設はクラスターが発生しないように対応したい。
- ・ 5類になっても施設のリスク管理は変わらない。高齢者施設と一般の人を同じ基準で考える事はできないが、国は全て施設に丸投げに状態で困る。
- ・ 今現在の一般社会の人々の意識はコロナ感染の恐怖はない。しかし高齢者施設でクラスターや高齢者が感染し対応に追われた大変な時期を経験した者としては、感染予防について一定の予防体制は整えておかななくてはならないと感じている。先日一般社団法人の今後のコロナ感染の対応についての文言「今後も緊張感と柔軟性をもって対応するように。」とのこと。難しい対応（選択）を迫られている気がしてならない。
- ・ 5類移行後も状況を見ながら段階的に制限を解除するといった対応にならざるをえない。
- ・ 医療・福祉の従事者と周囲との状況に差があり、離職等に繋がるのではないかと心配している。クラスター等による減収による施設経営が厳しくなるケースが想定される。
- ・ 5類移行後の感染拡大が心配です。
- ・ しばらくは従来通りの対応を行う予定です。
- ・ コロナ第9波の拡大が心配
- ・ 経済を回すことも大事だが、せめて大型連休後の感染拡大状況を見てからでも良かったのではないかと思います。一般の方と医療、福祉従事者との感染対策に温度差を感じます。

- また爆発的な感染が生じることは懸念していますが、その場合は、迅速に状況に応じた対応に変更していきます。
- 国の指針と国の専門家会議の方向性が異なることに対して矛盾がある。感染後の病院の対応がこれまでどおりであれば、5類になることでより混乱をきたす可能性がある。
- 再度、施設内でクラスターが起きた時の対応や事業運営
- 何もかもコロナ禍以前のように戻したいです。
- 感染対応をさせたいならば、そのように国から指示を出してほしい
- 高齢者施設のため「持ち込まない」が原則です。しかし、入居者様の行動制限をどこまで緩和しているのか分からない。とりあえず、GW明けの感染拡大状況を確認してから判断したいと思います。
- 家族は今まで（コロナ前）の面会や外出などを求めてくること。
- 施設内で感染者が出た時の保健所の対応。
- 施設や法人が判断できるような情報提供や指針を出して欲しい。
- 定点観測になり、感染者の発表も1週間単位になる為、正確な流行状況が分からなくなるのが不安で心配しております。
- 一般の医療機関の嘱託医の対応
- どれだけコロナ前の状態に近づけられるのか、3年間で施設内の雰囲気は自粛から萎縮になってしまっている。
- 全く何も変化はしていない。政府の対応に不満。
- 5類に移行されることで、一般的には対策がすでに緩和されているが、高齢者施設では同じようにはいかないことを理解していただくのが大変。
- 職員のコロナ感染の可否を抗原検査に頼って大丈夫なのか。コロナ自体何も変わっていないのにに予防対応を縮小しても良いのか不安。
- 病院受診の体制確保が課題。嘱託医の診察受け入れや入院ができない場合の、病院の確保。
- 高齢者の感染は後遺症もあり命取りであることは間違いないです。移行により緩和されることで水際対策が難しく、不安です。
- 施設利用者に感染があった場合の今後の対応について
- 高齢者施設に対して、対応を明確に示してほしい。
- 制限緩和のタイミングが難しく感じる
- クラスター発生時の医療提供体制の確保。訪問診療や訪問看護のサポート体制がないことを懸念している。
- 重症者が発生した場合の受け入れ病院が、すぐに見つかるか。
- 5類に移行され、制限はないとしながら高齢者施設等については「配慮」という表現で施設等の判断を求められている。支援・保証がない中で感染対策の継続は経営的負担を強いられることとなる。また、「配慮」の理解について、施設と利用者・家族との乖離が生じることが想定され、判断に迷う。